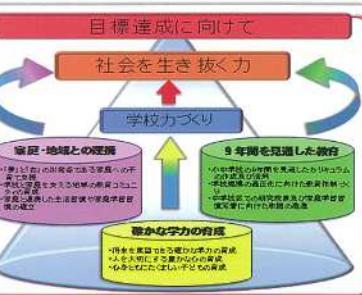




◎教育レビューのようす

平成29年4月21日（金）、中央公民館にて教育委員会事務局職員を対象として「教育レビュー」を開催しました。この「教育レビュー」は教育委員会事務局各課の事業について担当職員が説明を行い、各課の事業・取組に対して相互理解を図ることを目的としています。今年度は転入職員・新規採用職員を中心に行なわれました。教育委員会事務局の業務内容・施策方針等についての理解を深めました。



◎昨年度の「サイエンス・スクール」より

次回は9月の発行予定で、五條小学校、阿太小学校、五條中学校、五條幼稚園を紹介いたします。

教育総務課

教育レビューを開催しました！

学校教育課

う社会を生き抜く子どもたちの育成を目指して

学校教育課では、「子どもたちが夢や志を持ち、社会を生き抜くために基礎となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体と安全」の3つの観点をバランスよく育むための「学校力づくり」を支援しています。また、左の図に示すように、目標達成に向けて、地域ぐるみで子どもたちを育成する「地域コミニティの確立」、小中学校の「9年間を見通した教育の推進」、「将来を展望できる確かな学力の育成」をトライアングルとして取組を推進しています。また、小中学校教員による相互乗り入れ授業を一部の学校で行います。さらに、子どもたちの理科に関する興味関心を高める目的とした第2回「サイエンス・スクール」を、本年度も奈良教育大学理数教育センターと連携のもと、8月に開催します。科学の不思議を体験できる「おもしろ理科実験講座」を多数用意し、2日間に分けて開講します。

五條市教育広報

夢志のひろば

MU-SHI

編集・発行 五條市教育委員会 ☎0747-22-8751 〒637-0083 五條市下之町21番地

もくじ

- 1面 賀名生分校魅力化推進事業について
- 2面 学校紹介
- 3面 学校紹介
- 4面 教育委員会から

賀名生分校では来年度入試から全国募集を実施します

五條市の農業の現状

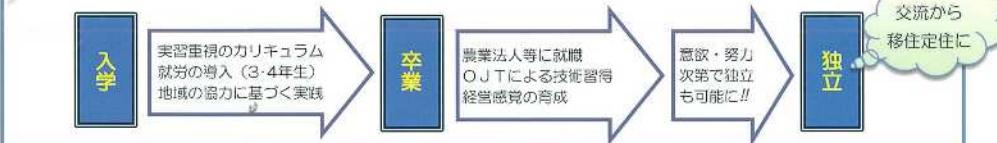
全国に比べ農業を営んでいる人の年齢層は若いが、農業従事者は全国とほぼ同じ率で減少し、それに伴って耕作放棄地の増が目立っています。

	平成22年	平成27年の五條の状況	H27の全国の状況
仕事として農業を営んでいる人	2,185人	1,862人(△323人 △14.8%)	△14.52%
この内、65歳以上の人の割合	55.15%	58.16%	64.55%
耕作放棄地の面積	241ha	276ha(+35ha +14.5%)	+ 6.84%

(5年毎に実施される農業センサスの結果を基に作成しており、増減は5年間の変化を示している。)

賀名生分校の目指すもの

地元農家の協力により実習を中心に実践的な農業を学び、農業の担い手としてその成果を地域に返すことのできる生徒を育てる教育を行います。



五條市は、柿生産高日本一（市町村比較）を誇る全国有数の農業生産地域ですが、生業として携わっている農業従事者の減少や高齢化は、全国他の地域と同様、大きな課題となっています。昭和25年、当時の賀名生村が地域農業の担い手育成を目的の一つとして設置した賀名生分校は、昭和34年に「西吉野村立」に、平成27年に「五條市立」と変遷してきましたが、昨今の少子化や子育て世代の転出などにより入学者が減少し、当初の目的を果たすことが難しくなってきていました。そこで、五條市教育委員会では、平成30年度の入学者選抜から全国いずれの地域からも出願できる「全国募集」を実施することとし、今年度は寄宿舎を整備するとともに学習内容や方法を充実させ、県内外の中学校へ広報活動を展開することを予定しています。

学習については、専門教科（農業）に力を注ぎ、その中心を担う実習の多くの地元の農園で指導していただき、実



賀名生分校全景

卒業後は農業法人などに就職し地域農業の担い手の一人として活躍するとともに、本人の意欲や努力に応じて農業経営者として独立し、本市で定住することのできる仕組みを、民間・行政が連携してつくり、元気なまちづくりの一翼を担える学校に育てていきます。たいと考えています。



未来

ICT活用授業
小規模学校の教育上
の課題を克服するため
野原小学校とICTで
結び、年間を通じて合
同学習を行っています。
今年度は三年目と
なりや社
法の指
導方
開発
会科
算数
繩割り班活動
全校児童を学年縦
断的に分けた繩割り
班での活動を通して
異学年交流を大切に
しています。児童数
の減少に伴い、交友
関係の多
様さ
現在

あり
る目
的も
を図
るの
多く
な場
面で
繩割
り活動
を行って
います。
伝わる「万葉集」につ
いて学習します。
また今後、小学校で
のプログラミング授業
の必修化が決まってお
り、本校でもいち早く
取り組んで行きます。

過去

毎日の清掃をはじめ、運動会やスポーツ、ツテス、校内才リエンターリングなど、学校生活の様々な場面で繩割り活動を行っています。

健やかな体

ひきの山・トリム
コース・運動場での
外遊びや、一輪車、マラソン・水泳など
いろんなスポーツに
親しむことで体力向上
を取り組んでいます。

「和」「協」「信」「愛」の心
ひきの山・トリム
コース・運動場での
外遊びや、一輪車、マラソン・水泳など
いろんなスポーツに
親しむことで体力向上
を取り組んでいます。

未来

や社
法の指
導方
開発
会科
算数
繩割り班活動
全校児童を学年縦
断的に分けた繩割り
班での活動を通して
異学年交流を大切に
しています。児童数
の減少に伴い、交友
関係の多
様さ
現在

あり
る目
的も
を図
るの
多く
な場
面で
繩割
り活動
を行って
います。
伝わる「万葉集」につ
いて学習します。
また今後、小学校で
のプログラミング授業
の必修化が決まってお
り、本校でもいち早く
取り組んで行きます。

過去

毎日の清掃をはじめ、運動会やスポーツ、ツテス、校内才リエンターリングなど、学校生活の様々な場面で繩割り活動を行っています。

健やかな体

「和」「協」「信」「愛」の心
ひきの山・トリム
コース・運動場での
外遊びや、一輪車、マラソン・水泳など
いろんなスポーツに
親しむことで体力向上
を取り組んでいます。



中町3-1 ☎(22) 3070



近内町1-158 ☎(22) 1965



きたまるくん

北宇智小学校
近内町1-158 ☎(22) 1965

○柿の葉寿司づくり
地元の方に、柿の葉寿司作り
や柿の葉寿司の歴史を学び、昔
の人たちの食に関する知恵や工
夫を知って、身近なものを生活
に役立てるきっかけとする体験
学習です。

柿の葉寿司は、
沖縄修学旅行民
泊先へのお土産
にしました。



○柿輝祭
元の高齢者
福祉施設・地域・
保護者の皆様方を
ご招待して幼稚園
児・小学校六年生
児童・中学生が心を一つにして
劇やダンスの発表、ご覧の皆
様方も参加した柿の早食い競争
など、大いに盛り上りました。

ふるさとに誇りを持ち
地域とのつながりを！

○柿の選果場体験
日本一の出荷量
を誇る地元の柿選
果場で、一年生が、
選果場労務の方や
地元生産者の方な
どに混じって一日
柿の選果・箱詰め・直売所での
販売など、「日本一の西吉野の
柿」を体感しました。



畠の形や付き
方を観察しながら
大きさ実の収
穫をめざし作業
を進めました。

たくましく
たのもしい
生徒の育成

西吉野町江出174-1 ☎(32) 0009

たくましく
たのもしい
生徒の育成

命を育む教育



地域の良いとこ発見

ウサギ当番、いつも有難う！
地域の良さ（場所・人・物）
を見発見する地域の良いところ
発見。五感を通して、子ども達
の心を揺さぶるような、想像力
が膨らむような、将来につながる
ような経験や体験をと、今年も考
えています。

「梅干し作り」の始まりです

今年も「小梅、獲りにお
いで」と、声をかけて下さった
幼稚園の近くの辻内さん。
「子ども達と関わるのが嬉
しくて、役に立ちたくて」と、
いつも話を下さっています。



子ども達一人一人の輝く未来に向かって
～人や物との出会いが豊かな人間性を育む～

「お話ボランティア」

毎週、金曜日に保護者に絵
本の読み聞かせをしてもらっ
て3年になります。子ども達は言葉に耳を傾けるよう
になり、貸し出しの日を楽しみ
に待つようになりました。今年
は、8名のボランティア方がお話を届けてくれます。

整理整頓完璧です

今日は、行っても大丈
夫?と言って、来て下さった
辻内さん。「自転車、三
輪車、スクーター」の車
止めをお願いすると、「
楽しみができた」と
と言って作って下さいました。

整理整頓完璧です



西吉野幼稚園
西吉野町和田194-1 ☎(32) 0023